



大日本塗料株式会社

2018年3月期決算説明会

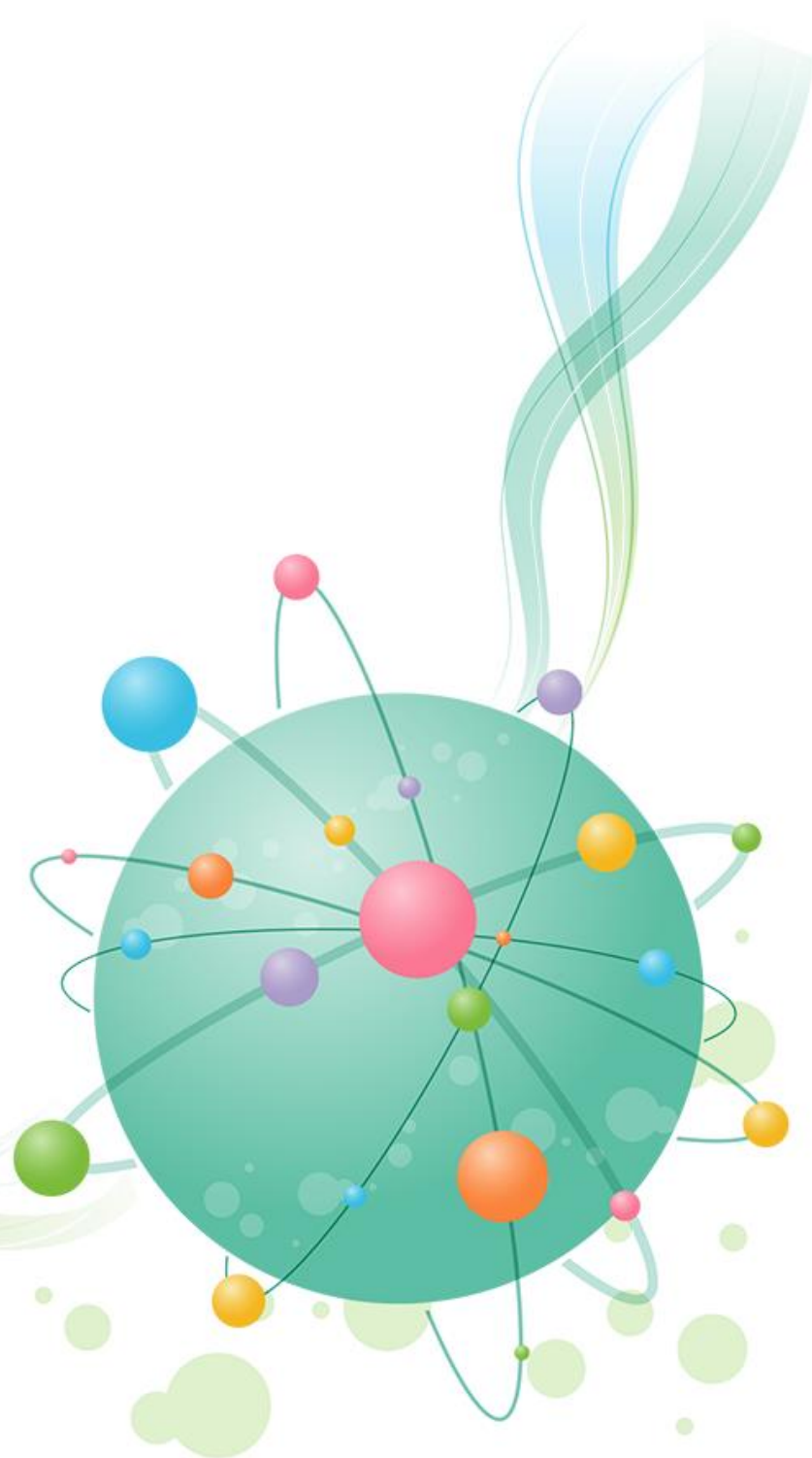
2018年5月29日

証券コード 4611 東証第一部



JPX-NIKKEI Mid Small

2016 - 2017年度選定



目次



Part I . 決算実績・業績予想	P. 2
Part II . 経営戦略	P. 15
Appendix . 会社概要及び事業内容	P. 23

Part I . 決算実績・業績予想



1.DNTグループの概況



- 国内塗料は構造物塗料を中心に、建材塗料、金属焼付塗料（カーテンウォール）に強み
- 海外塗料は自動車部品用塗料を中心に、着実な成長を志向

海外塗料

- **自動車・プラスチック塗料**
- 金属焼付塗料
- 車輻及び産業機械塗料
- 構造物塗料
- 建築塗料
- 建材塗料



照明機器(DNライティング(株)/ニッポ電気(株))

- 業務用照明機器



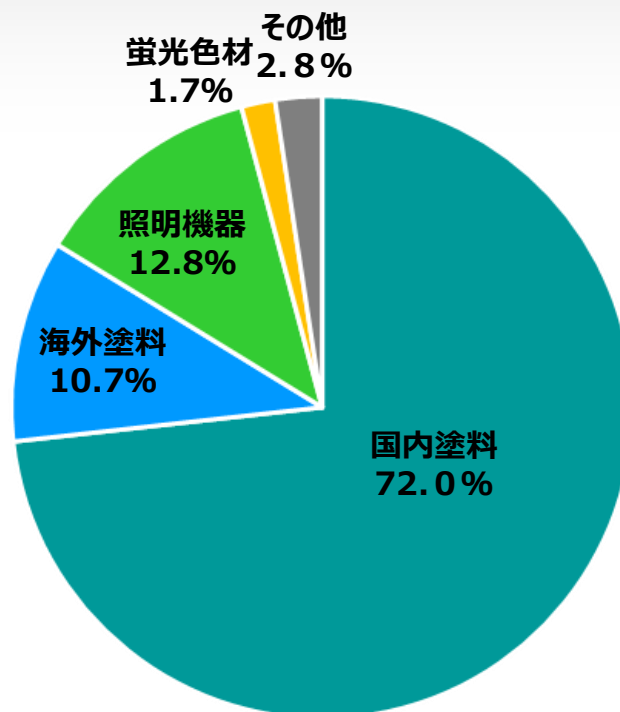
蛍光色材（シンロイヒ(株)）

- 蛍光塗料・反射塗料



売上構成 (2018年3月期)

連結売上高：74,119百万円



国内塗料

- **構造物塗料**
- 建築塗料
- **建材塗料**
- **金属焼付塗料**
- 車輻及び産業機械塗料
- 自動車・プラスチック塗料
- 自動車補修塗料
- ジェットインク等



その他

- エンジニアリング
(日塗エンジニアリング(株))
- 物流
(ニットサービス(株))



2. 2018年3月期決算実績



① 決算概要総括

業界環境

- 年度後半以降、石化製品および亜鉛・酸化チタン等主要顔料の価格高騰によるマージン縮小が加速

売上面

連結売上高 74,119 百万円 前期比 +1,330 百万円 +1.8%	国内塗料	53,374 百万円	△123百万円 △0.2%	■ 構造物・工作機械分野は増収も建材分野で減収
	海外塗料	7,960 百万円	+940百万円 +13.4%	■ 自動車生産台数の増加を背景に、北中米市場において販売好調
	照明機器	9,470 百万円	+378百万円 +4.2%	■ 商業施設の改装需要を取り込み増収
	蛍光色材	1,275 百万円	△102百万円 △7.4%	■ 海外における衣料向け顔料需要が低調に推移

利益面

連結営業利益 6,588 百万円 前期比 +55 百万円 +0.8%	国内塗料	3,466 百万円	△419百万円 △10.8%	■ 下期以降の原材料価格高騰により減益
	海外塗料	1,405 百万円	+218百万円 +18.5%	■ 北中米市場の好調、東南アジア・中国も堅調で増益
	照明機器	1,146 百万円	+214百万円 +23.1%	■ 増収と経費削減効果で増益

2. 2018年3月期決算実績

②損益計算書 (P/L) (連結)



(単位：百万円、%)

	実績						コメント
	2017年3月期		2018年3月期				
	金額	構成比	金額	構成比	前期比		
					増減額	増減率	
売上高	72,789	100.0	74,119	100.0	1,330	1.8	■ 海外の北中米市場、照明事業が好調
売上総利益	22,649	31.1	22,813	30.8	163	0.7	■ 海外事業・照明事業の好調も、原材料価格高騰の影響が強く微増
販売費及び一般管理費	16,115	22.1	16,224	21.9	108	0.7	■ 主に減価償却費の増加
営業利益	6,533	9.0	6,588	8.9	55	0.8	
経常利益	6,600	9.1	6,392	8.6	△ 207	△ 3.1	■ 借入金返済による支払利息の減少 48 ■ 製品補償引当金繰入額の増加 △306
親会社株主に 帰属する 当期純利益	5,199	7.1	4,573	6.2	△ 626	△ 12.1	■ 固定資産売却益前期比減 △1,685 ■ 投資有価証券売却益前期比増 425 ■ 減損損失前期比減 213
減価償却費	1,903	-	2,022	-	119	6.3	■ 前期比 119 (国内) 100 (海外) △12 (照明) 11 (蛍光) 14
設備投資額	1,822	-	1,868	-	46	2.5	■ 前期比 46 (国内) △201 (海外) △69 (照明) 346 (蛍光) △30

2. 2018年3月期決算実績

③セグメント別売上高・営業利益（連結）



(単位：百万円、%)

	実績						コメント
	2017年3月期		2018年3月期				
	金額	構成比	金額	構成比	前期比		
					増減額	増減率	
売上高	72,789	100.0	74,119	100.0	1,330	1.8	
国内塗料	53,498	73.5	53,374	72.0	△ 123	△ 0.2	■ 建材分野で需要縮小により減収
海外塗料	7,019	9.6	7,960	10.7	940	13.4	■ 北中米市場が好調
照明機器	9,092	12.5	9,470	12.8	378	4.2	■ 商業施設の改装需要を取り込み増収
蛍光色材	1,377	1.9	1,275	1.7	△ 102	△ 7.4	■ 海外蛍光顔料市場が低迷
その他	1,801	2.5	2,038	2.8	237	13.2	■ 工事分野でインフラ需要を取り込み増収
営業利益	6,533	100.0	6,588	100.0	55	0.8	
国内塗料	3,886	59.5	3,466	52.6	△ 419	△ 10.8	■ 下期以降の原材料価格高騰により減益
海外塗料	1,186	18.2	1,405	21.3	218	18.5	■ 北中米市場の好調、東南アジア・中国も堅調で増益
照明機器	931	14.3	1,146	17.4	214	23.1	■ 増収と経費削減効果で増益
蛍光色材	135	2.1	119	1.8	△ 16	△ 12.0	
その他	158	2.4	213	3.2	55	35.0	
調整額	234	3.5	236	3.7	2	0.9	

2. 2018年3月期決算実績

④貸借対照表 (B/S) (連結)



(単位：百万円)

	2017年3月期	2018年3月	増減額	コメント
流動資産	32,923	34,290	1,367	
現金及び預金	4,416	4,428	12	
受取手形及び売掛金	17,802	18,561	758	■ (国内) 227 (海外) 116 (照明) 223 (その他) 194
たな卸資産	9,009	9,429	419	■ (国内) 183 (海外) 189 (照明) 44
その他流動資産	1,694	1,872	177	
固定資産	37,451	42,216	4,764	
有形固定資産	22,476	22,499	22	■ 設備投資による増加1,730に対し、減価償却△1,676、為替の影響△37
無形固定資産	849	637	△ 212	■ 設備投資による増加76に対し、減価償却△53、借地権の土地への振替△177
投資その他の資産	14,125	19,079	4,954	■ 退職給付信託資産の時価評価増による退職給付に係る資産の増加5,076
資産合計	70,374	76,506	6,132	
負債合計	34,055	33,157	△ 897	
(借入金残高)	(5,294)	(1,991)	△ 3,302	■ 借入金返済 △3,302
純資産合計	36,319	43,349	7,030	■ 親会社株主に帰属する当期純利益4,573に対し、配当金支払△582、自己株式取得△381、為替換算調整勘定122、退職給付に係る調整累計額2,765、有価証券評価差額金147
負債純資産合計	70,374	76,506	6,132	

2. 2018年3月期決算実績

⑤ キャッシュ・フロー計算書（連結）



(単位：百万円)

	2017年3月期	2018年3月	増減額	コメント
営業活動による キャッシュ・フロー	6,133	5,315	△ 817	■ 営業利益微増も、法人税等の支払増加により減少
投資活動による キャッシュ・フロー	637	△ 398	△ 1,036	■ 投資有価証券売却収入が増加したが、前期計上した有形固定資産売却収入計上がなくなり、減少
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 5,808	△ 4,747	1,061	■ 配当金・自己株式取得等、株主還元で資金需要増加も、借入金返済額が減少した為、増加
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 81	133	215	
現金及び現金同等物の 増減額	880	303	△ 577	
現金及び現金同等物の 期首残高	3,072	3,953	880	
現金及び現金同等物の 期末残高	3,953	4,256	303	

3. 2019年3月期業績予想



① 連結業績予想のポイント

売上面

連結売上高 75,000 百万円 前期比 +880百万円 +1.2%	国内塗料	54,000 百万円	+625百万円 +1.2%	■ 年度後半にかけ東京五輪需要拡大
	海外塗料	8,000 百万円	+39百万円 +0.5%	■ 自動車部品分野でのシェアアップ、 粉体塗料の拡販

利益面

連結営業利益 6,600 百万円 前期比 +11百万円 +0.2%	国内塗料	3,600 百万円	+133百万円 +3.8%	■ 原材料価格高騰の難局面だが、 経費削減や原料コストダウンなど 総合的施策でカバー
	海外塗料	1,430 百万円	+24百万円 +1.7%	■ 原料の現地調達率を引き上げ、 購買コスト削減

3. 2019年3月期業績予想

②損益計算書（P/L）業績予想（連結）



(単位：百万円、%)

	実績		業績予想				コメント
	2018年3月期		2019年3月期				
	金額	構成比	金額	構成比	前期比		
増減額					増減率		
売上高	74,119	100.0	75,000	100.0	880	1.2	■ 国内インフラ需要を中心に売上増を見込む
売上総利益	22,813	30.8	22,700	30.3	△ 113	△ 0.5	■ 原材料価格の高止まりを想定 ■ 売上増加、収益改善で補う
販売費及び一般管理費	16,224	21.9	16,100	21.5	△ 124	△ 0.8	
営業利益	6,588	8.9	6,600	8.8	11	0.2	
経常利益	6,392	8.6	6,500	8.7	107	1.7	■ 2018/3期は製品補償引当金322計上
親会社株主に 帰属する 当期純利益	4,573	6.2	4,200	5.6	△ 373	△ 8.2	■ 2018/3期は有価証券売却特益595計上
減価償却費	2,022	—	2,100	—	77	3.9	
設備投資額	1,868	—	2,000	—	131	7.1	■ 設備投資本格化は2020/3期を予定

3. 2019年3月期業績予想

③セグメント別売上高・営業利益（連結）



(単位：百万円、%)

	実績		業績予想				コメント
	2018年3月期		2019年3月期				
	金額	構成比	金額	構成比	前期比		
増減額					増減率		
売上高	74,119	100.0	75,000	100.0	880	1.2	
国内塗料	53,374	72.0	54,000	72.0	625	1.2	■ 年度後半にかけ東京五輪需要拡大
海外塗料	7,960	10.7	8,000	10.7	39	0.5	■ 自動車部品分野でのシェアアップ、粉体塗料の拡販
照明機器	9,470	12.8	9,600	12.8	129	1.4	■ 東京五輪需要活性化、ホテル需要の増加
蛍光色材	1,275	1.7	1,360	1.8	84	6.6	■ 安全対策、環境配慮製品を拡販
その他	2,038	2.8	2,040	2.7	1	0.1	
営業利益	6,588	100.0	6,600	100.0	11	0.2	
国内塗料	3,466	52.6	3,600	54.5	133	3.8	■ 売上増加、経費削減で原料高をカバー
海外塗料	1,405	21.3	1,430	21.7	24	1.7	■ 原料現地調達率を引き上げ、購買コスト削減
照明機器	1,146	17.4	1,000	15.2	△ 146	△ 12.8	■ 高収益市場である蛍光ランプ市場の縮小進む
蛍光色材	119	1.8	130	2.0	10	8.9	
その他	213	3.2	200	3.0	△ 13	△ 6.5	
調整額	236	3.6	240	3.6	3	1.4	

3. 2019年3月期業績予想

④ 海外地域別売上高



(単位：百万円、%)

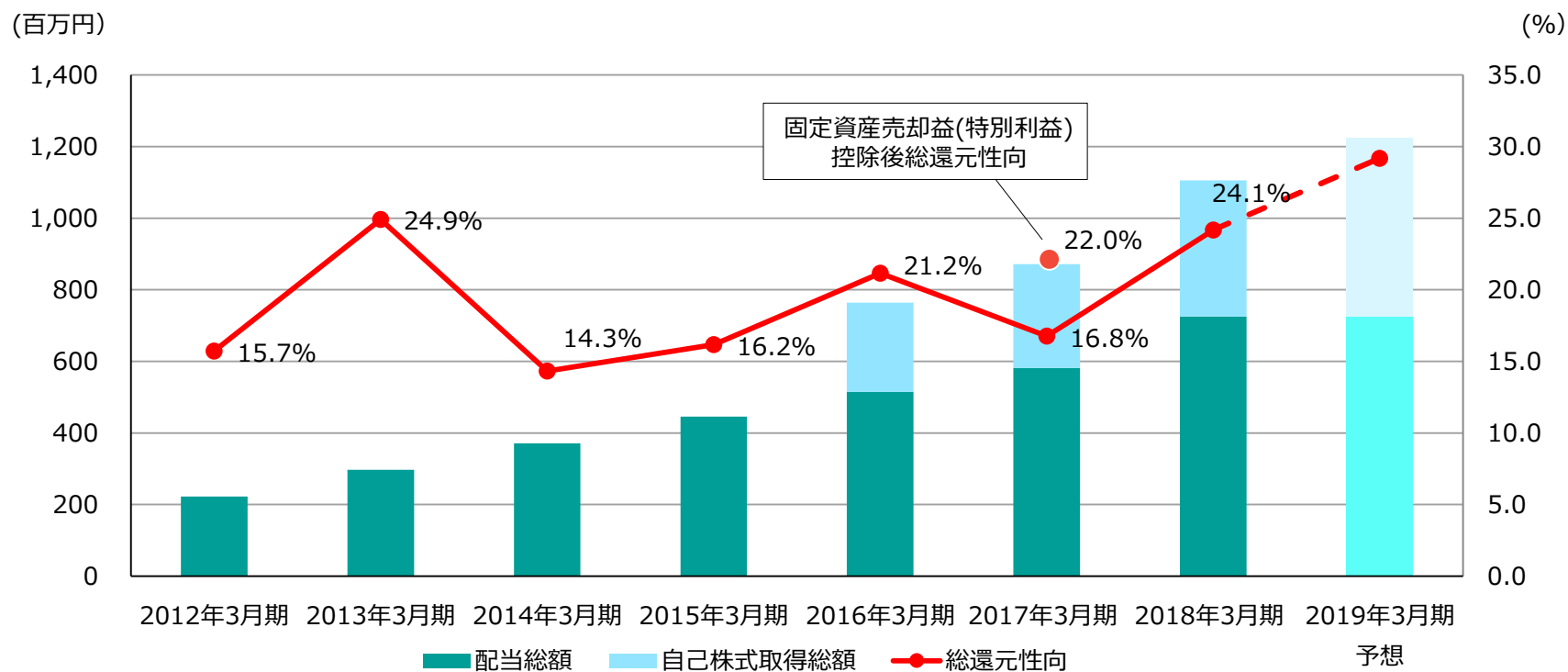
	実績		業績予想				コメント
	2018年3月期		2019年3月期				
	金額	構成比	金額	構成比	前期比		
					増減額	増減率	
海外 計	7,960	100.0	8,000	100.0	39	0.5	■ 自動車部品分野以外の収益基盤構築に注力
東南アジア	5,345	67.2	5,250	65.6	△ 94	△ 1.8	■ 売上微減も、高収益商品の重点拡販により利益確保
中国	1,277	16.0	1,380	17.3	102	8.1	■ 自動車部品分野および粉体塗料の新規開拓
その他	1,338	16.8	1,370	17.1	31	2.4	■ 自動車生産台数は前年水準維持と想定

4. 株主還元

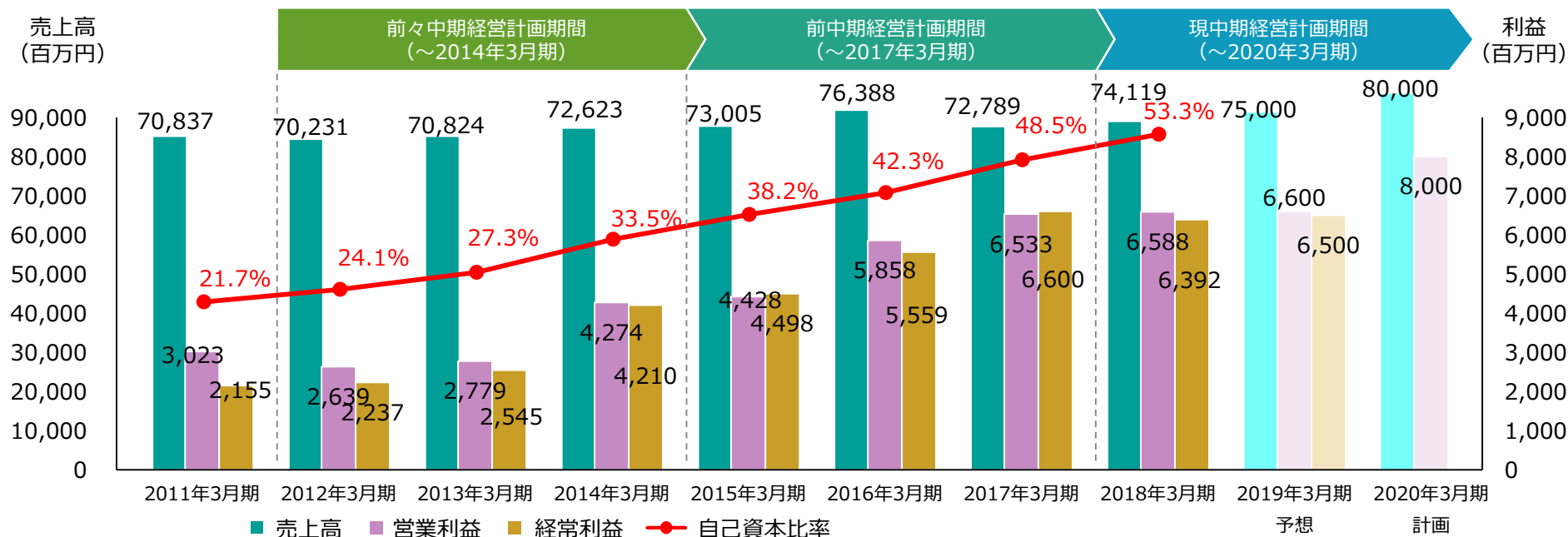


総還元性向推移

- 業績に連動した継続的な増配を着実に実施。2018年5月11日開催の取締役会において、30万株、500百万円を上限とした自己株式の取得を決議

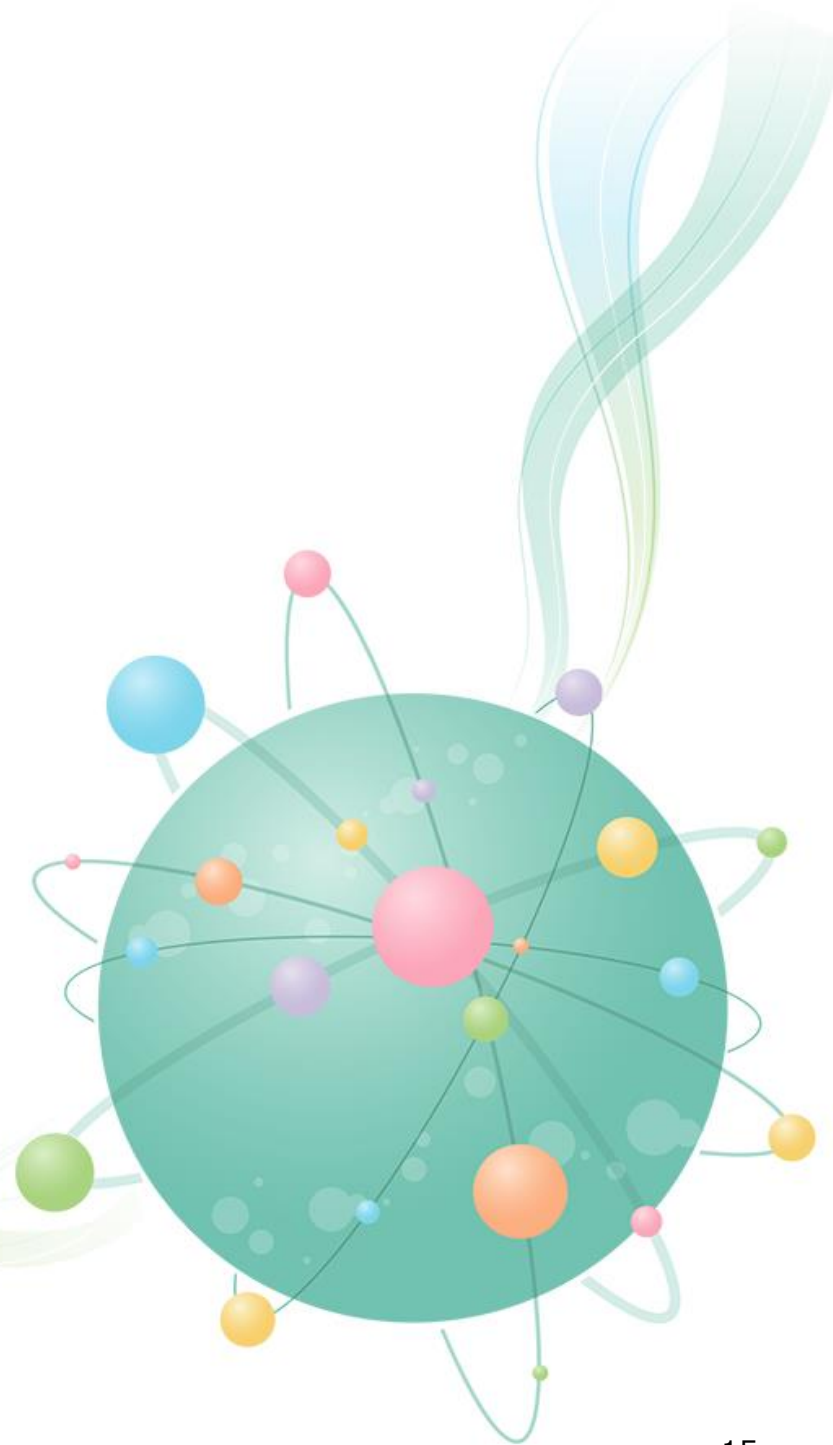


5. 連結売上高・利益推移



- 高付加価値品シフト/製品ポートフォリオの転換により高収益体質が定着し、営業利益は5年連続最高益を更新
- 創出したキャッシュフローにより借入金を大幅圧縮、強固な財務基盤を実現。投融资余力が蓄積され新たな攻めのステージへ
— 借入金残高： 2011/3末 208億円 → 2018/3末 20億円 (△188億円)

Part II. 經營戰略



1. 経営理念とコンセプト



経営理念

当社は、新しい価値の創造を通じて地球環境や資源を護り、
広く社会の繁栄と豊かな暮らしの実現に貢献できる企業を目指します

大日本塗料の ポジショニング

ロケーション

- 国内：当社グループのメインマーケットとして重点事業分野に特化
- 海外：特定国の経営環境に対応した事業構造・商品に選択と集中

事業領域

- 構造物、建築物、建材を中心に高付加価値品に重点
- インクジェット・照明機器・蛍光塗料など他社にない独自分野

経営課題

- デジタルテクノロジー発展に伴う産業構造の変革により生じる素材の変化への対応
- 東京五輪後を境にインフラは新設からメンテナンスの時代へ突入、情報力・提案力・販売力構築が急務

商品開発をベースに顧客への
ソリューションの提案力強化

総合サービス力の拡充・強化

中期経営計画コンセプト

持続的成長に向けて、新たな高付加価値化へ挑む

2. 中期経営計画概要



コンセプト 持続的成長に向けて、新たな高付加価値化へ挑む

① インフラ需要の 確実な取り込み

インフラコーティングPJ

橋梁・
コンクリートシェアアップPJ

② 強みを生かした 市場開拓

構造物橋梁・
プラント新市場開拓

建材事業の高付加価値化

リフォーム事業拡大PJ

産業用インクジェット事業拡大

③ 国内塗料事業の 更なる強化

新素材、新基材への対応

メンテナンス対応の高度化

④ 海外事業の 積極拡大

海外事業拡大PJ

付加価値創出・効率化のための設備・R&D投資

M&Aの推進

	2018年3月期 実績	2020年3月期 目標
売上高	74,119	80,000
国内塗料	53,374	58,100
海外塗料	7,960	8,800
照明機器	9,470	9,900
蛍光色材	1,275	1,400
その他	2,038	1,800
営業利益	6,588	8,000
国内塗料	3,466	4,910
海外塗料	1,405	1,580
照明機器	1,146	950
蛍光色材	119	140
その他	213	150
調整額	236	270
営業利益率	8.9%	10.0%

3. 事業環境認識



国内塗料

- **原材料価格の高騰（昨年に生じた環境変化）**
 - － 石化製品の需要逼迫を背景とした価格の高止まり、亜鉛・酸化チタン等主要顔料の価格が高騰
- **国内インフラ需要の動向**
 - － 東京五輪需要は、関連工事、ホテル建設・改装が2018年度後半から活性化、2019年度のピークに向け塗料需要も拡大を予測
 - － 東京五輪後、国内の社会インフラ、住環境インフラは新設からメンテナンスへ移行
- **デジタルテクノロジー進展・シェアリング・エコノミー出現**
 - － 自動車産業、建築・住宅産業に大きな変革、素材・基材の急速な変化。素材の変化に伴う新たな塗料・コーティング技術への対応が必須に

海外塗料

- **新興国における自動車需要の拡大**
 - － メキシコにおける自動車生産拡大が好材料だが、NAFTA見直し等の地政学リスクの高まりを注視
 - － 中国における自動車部品関連需要が拡大するも、不透明感も拡がり設備投資への慎重姿勢は継続
- **新興国インフラ需要・建設需要の拡大**
 - － 新興国における日系企業進出が進展、建設需要の拡大に伴うカーテンウォール需要の拡大に期待

照明機器

- **LED市場の拡大**
 - － 蛍光灯からLEDへの転換が一層進展し、LED関連器具市場の裾野が拡大
 - － 蛍光灯関連品の需要減は引き続き進む

① インフラ需要の確実な取り込み

- 東京五輪開催に伴う首都圏開発需要、道路橋、トンネルの塗り替え需要に対応し、水性等環境対応形製品等の付加価値の高い製品で取り込む

インフラ事業

橋梁

- 全国の橋梁数は約70万橋。建設後50年を超えた橋梁（2m以上）の割合は、18%(2013年) →43%(2023年) →67%(2033年)へと増加
(出所：国土交通省)



気仙沼大島大橋



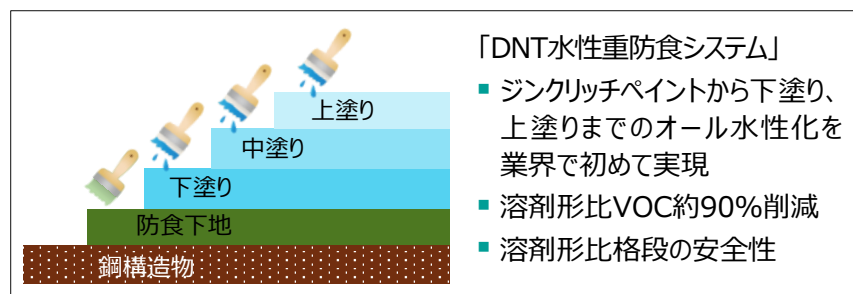
水性の不燃性塗料によるトンネル内
コンクリート片はく落防止技術

トンネル

- 全国のトンネル数は約1万本。建設後50年を超えたトンネルの割合は、20% (2013年) →34%(2023年) →50% (2033年)へと増加
(出所：国土交通省)

「DNT水性重防食システム」の首都高速本格採用

- 水性重防食塗料の先駆者として、防食下地から上塗りまで「オール水性仕様」で他社に先駆けた採用が進展



- 大規模需要拡大見込みに伴い現時点の受注実績を着実に履行し、信頼性の獲得を図る
- 水性重防食塗料のJIS制定（2018年以降）以降の展開をにらみ実績を拡大

東京五輪事業

- 武蔵野の森総合スポーツプラザの外装にVOC排出削減効果と超耐候性が評価され、当社のふっ素樹脂粉体塗料「パウダーフロンCW」が採用



武蔵野の森総合スポーツプラザ

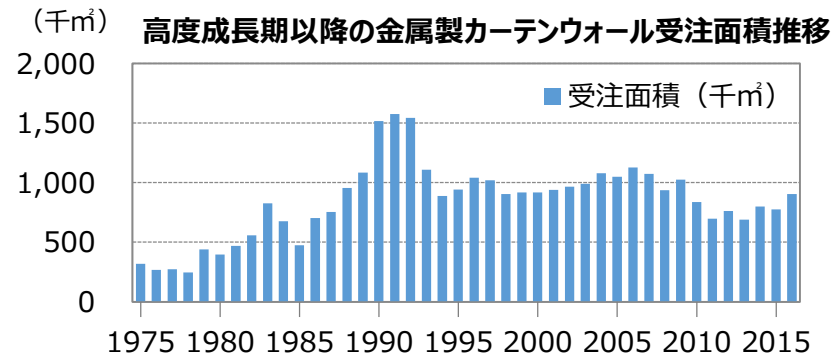
4. 経営戦略トピックス

② 強みを生かした市場開拓

- カーテンウォールメンテナンスの施工実績を取り込み、建材塗料の拡販などDNTの強みを生かした市場開拓に注力

カーテンウォールメンテナンス

- 今後30年超の金属製カーテンウォールが増加する中、業界初のローラー塗装が可能なメタリック塗料「Vフロン #200スマイルRBメタリックシステム」で金属製カーテンウォールの塗り替え受注、成功事例による引合いに期待



(出所:(一社)カーテンウォール・防火開口部協会)

事例：神戸国際交流会館



1981年2月竣工時

2016年10月塗り替え前

2017年4月塗り替え後

石油プラントメンテナンス

- 市場ニーズに合った防錆塗料を上市、耐用年数を迎える石油プラントメンテナンス市場を開拓



沖縄石油備蓄基地

戸建・集合住宅外壁塗り替えメンテナンス

- SBライズコートなど現行意匠の高意匠性を生かした、「クリヤー塗料」の上塗りにより美観を維持



「S Bライズコートシステム」施行例



③国内塗料事業の更なる強化

- 「新素材センター」、「防食センター」の設立計画、新素材・防食分野での商品力・総合サービス力強化
- 新しい技術を取り入れ少量多品種生産の抜本的効率向上を図る「プロセスイノベーションPJ」を各工場で開催

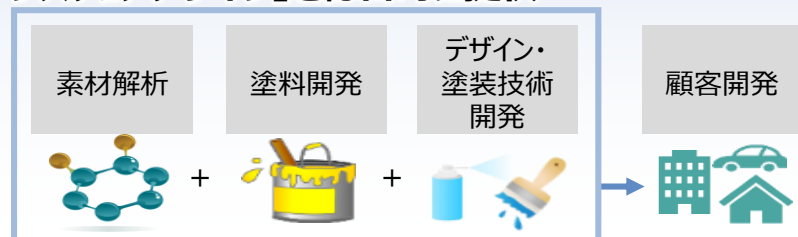
新素材センター（小牧）

【背景】

自動車産業、建築・住宅産業における素材や基材の急速な変化に対応

【目的】

様々な成形品に対して、「素材解析・最適コーティングシステム・デザイン」を総合的に提供



防食センター（那須）

【背景】

メンテナンス工程の省力化、ライフサイクルコストの低減、作業環境保全、塗膜の劣化予測など多様なニーズに対応

【目的】

防食分野の塗装対象物を維持管理する上で必要となる製品、技術、情報、サービスを総合的に提供

顧客へのソリューション提供

- 塗膜及び素材の劣化（寿命）予測
- LCCを考慮したメンテナンス塗装仕様・効率的施工工法

プロセスイノベーションPJ

少量多品種生産の抜本的向上・生産効率改善

少量多品種対応

レイアウト改善・自動化による設備改善
少量多品種の生産効率を改善

- 小牧工場リニューアル、生産効率の改善
 - 少量多品種効率化の具体的な構想
 - 大量生産品の工場内集約と効率化
 - 粉体塗料の新ライン導入/メタリック粉体能力増

調色工法

少量多品種の代表格「調色」の抜本改善
ベースの統合や共通化、色管理、調色データ一元化

- 調色データの一元管理
- 自動化対象品と投資内容の検討



自動調色機

自動制御

人間系での設備・生産管理から
DCS（分散制御システム）機能展開
IoT, AIの活用

- 那須工場DCSの制御範囲拡充
 - 受注～原料発注～生産組入自動化検討
 - 原材料の配膳、運搬、仕込みの自動化



④ 海外事業の積極拡大

- タイ・インドネシア・中国・メキシコにて生産・試験評価設備を拡充し、自動車部品分野を中心に事業拡大を図る

中国



- 生産能力の増強と環境規制への適応を目的とした、新工場の設立を準備
- 中国国内において自動車部品分野を中心に工業用分野の新規顧客の開拓

タイ



- 東南アジアにおける自動車部品分野の積極拡大のため、商品技術開発部門（R & Dセンター）の設置を検討
- 基幹システム導入によるシステム更新等の設備投資により、管理体制合理化・品質の改善を図る

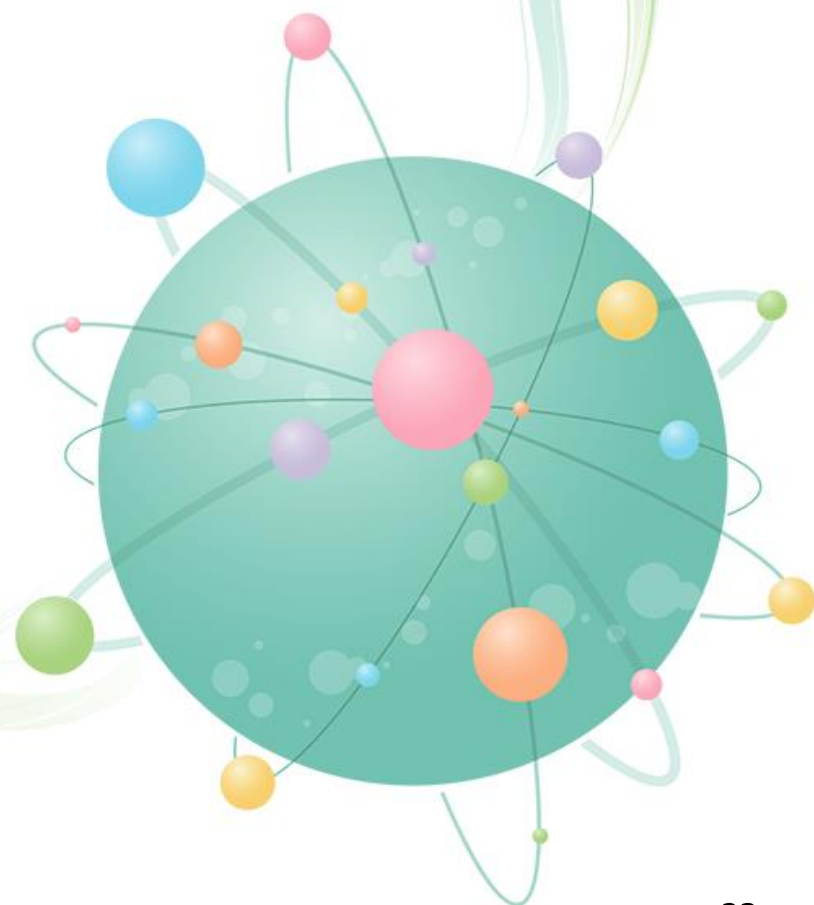
メキシコ



- 合併会社の利点を生かし自動車部品分野の新規顧客獲得を推進すると共に、生産・管理体制の更なる強化を図る



Appendix. 会社概要及び事業内容



1. 会社概要

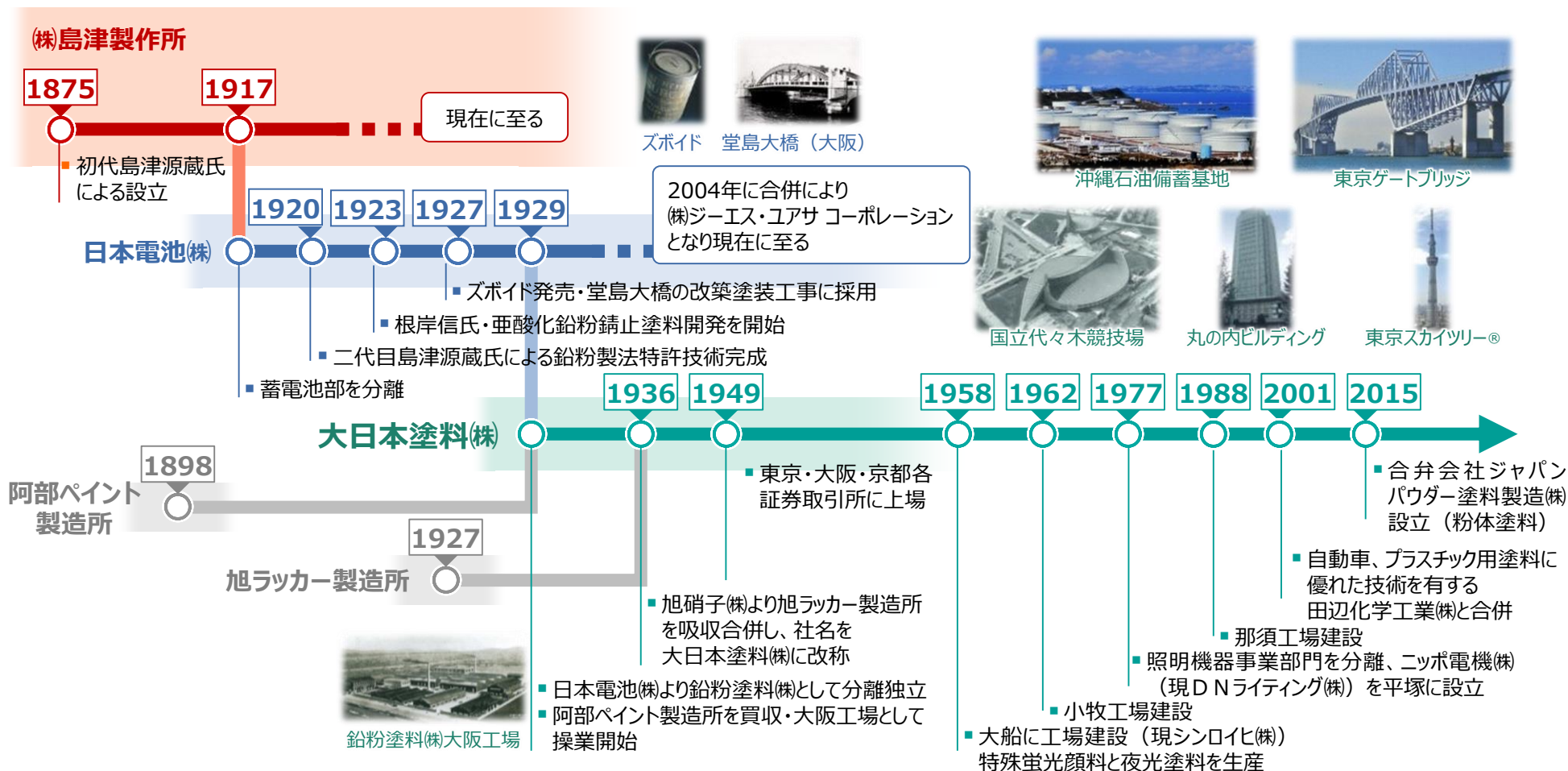


会社名	大日本塗料株式会社	Dai Nippon Toryo Company, Limited
本社	大阪市此花区西九条六丁目 1 番124号	
設立	1929年7月25日	
事業内容	塗料・ジェットインクの製造、販売	
代表者	取締役社長 岩浅 壽二郎	
売上高	74,119百万円	(連結/2018年3月期)
営業利益	6,588百万円	(連結/2018年3月期)
経常利益	6,392百万円	(連結/2018年3月期)
親会社株主に帰属する当期純利益	4,573百万円	(連結/2018年3月期)
資本金	8,827百万円	(連結/2018年3月期末)
従業員数	2,177名	(連結/2018年3月期末)
証券コード	4611 東証第一部	

2. 沿革



- (株)島津製作所から発祥の日本電池(株) (現(株)ジーエス・ユアサ コーポレーション) において開発された亜酸化鉛粉錆止塗料を基に、1929年日本電池(株)より分離、独立
- 創業製品「ズボイド」に始まり建築物・構造物の重防食塗料を中心に、日本の塗料技術をリード

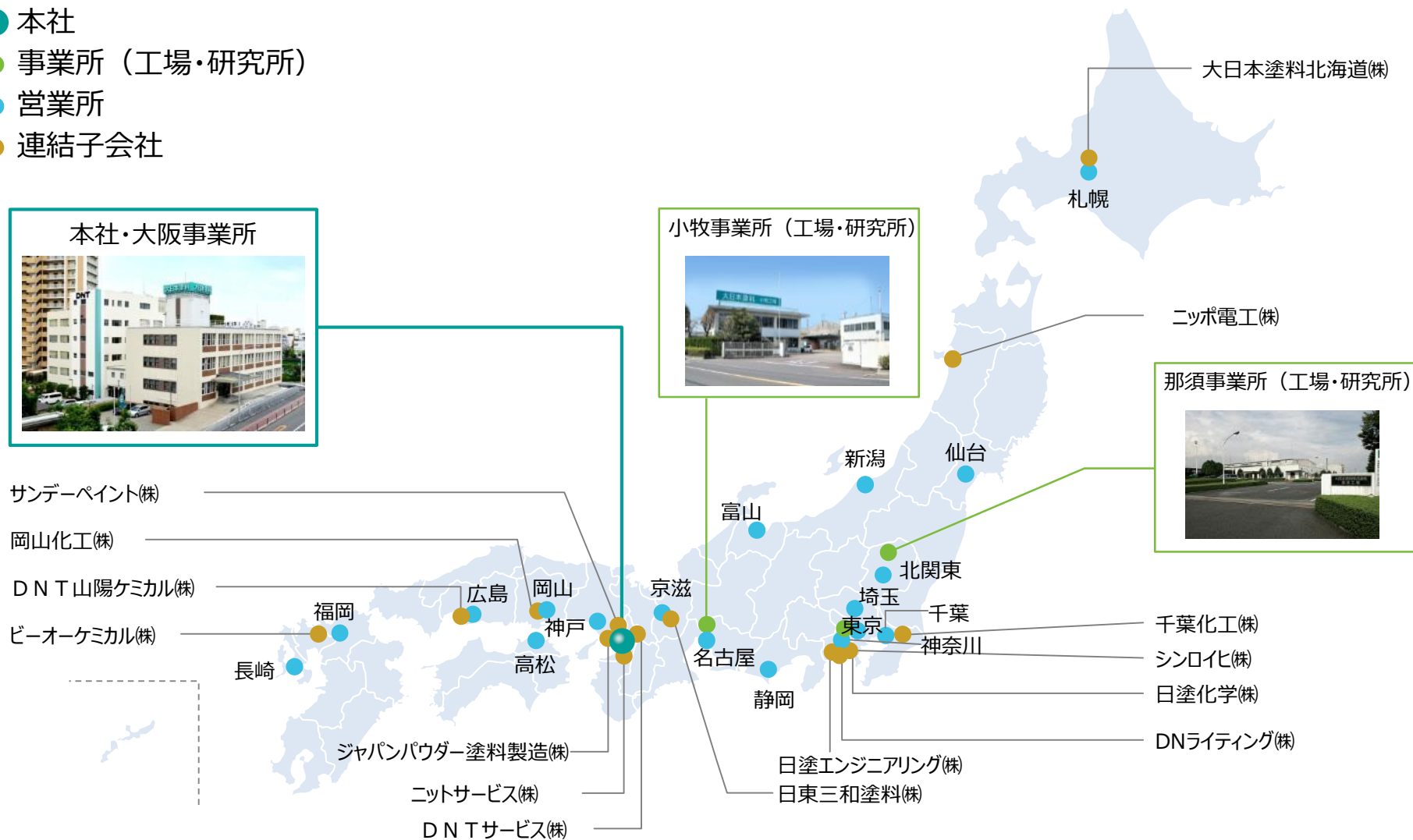


3. 国内拠点



■ 国内23拠点（本社・事業所4拠点、営業所19拠点）、連結子会社15社

- 本社
- 事業所（工場・研究所）
- 営業所
- 連結子会社



4. 海外拠点



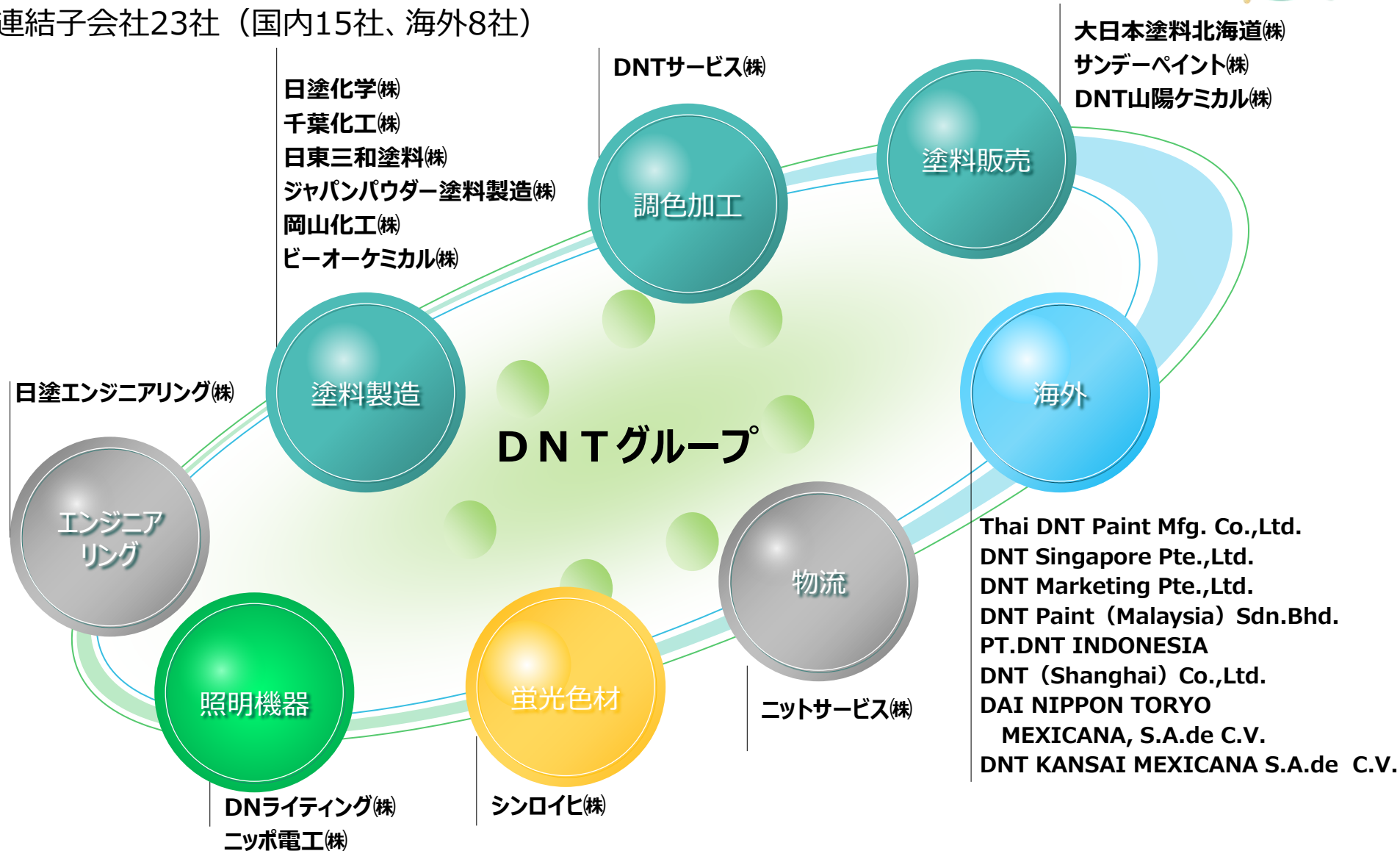
■ 海外9拠点 (海外工場 5拠点)

- 連結子会社
- 持分法適用会社
- 業務提携
- 技術提携
- 工場



5. DNTグループ概要

■ 連結子会社23社（国内15社、海外8社）



6.事業内容

①国内塗料事業（1）商品力と顧客基盤



- 下塗りから上塗りまでを当社塗料で完結できるトータルシステムの提供で最適な塗装仕様を実現
- 新築時から塗り替え（メンテナンス）時まで塗装物のライフサイクルをカバーするビジネスモデルにより確立した強固な顧客基盤

技術力に裏打ちされた商品力

下塗りから上塗りまでを当社塗料で完結可能なシステムを提供

構造物

超耐久性塗装システム：
VフロンHBシリーズ
DNT水性重防食システム

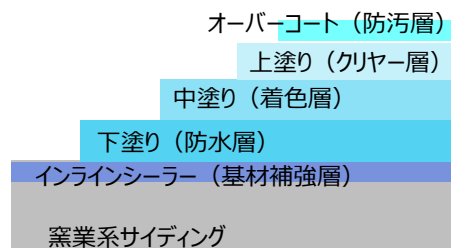
建材

インラインシーラーから
オーバーコートまで
当社仕様による

- 高い品質水準維持のために下塗りから上塗りまで、最適な塗装仕様を提供

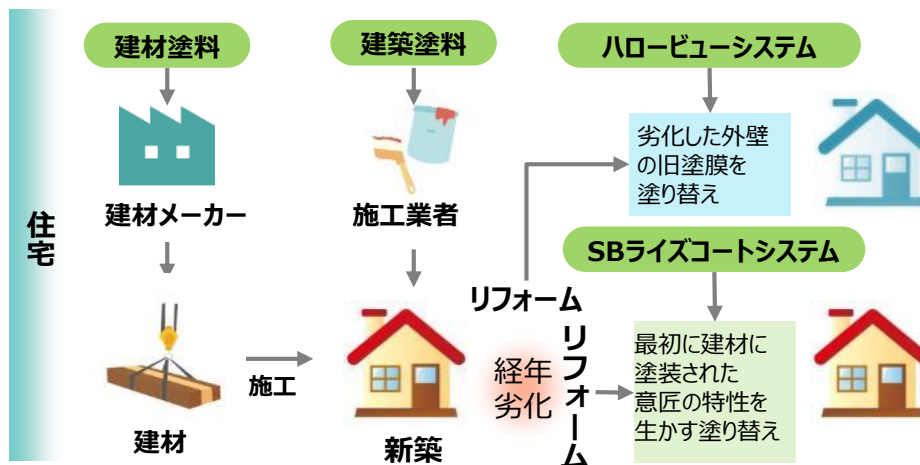
「塗装システム」として提案・提供

シーラーからオーバーコートまで取扱い



新築から塗り替えまで一貫したビジネスモデル

多様なサービス・品揃えにより塗装物のライフサイクルをカバー



6.事業内容

①国内塗料事業 (2) コア技術としての重防食塗料



- 当社創業以来のコア技術、製品力と技術力に裏打ちされた長年に亘る実績
- 環境に配慮し、塗装工程の短縮、塗り替え周期の長期化を実現する防食技術



6.事業内容

①国内塗料事業（3）建材塗料でトップシェア

- 重防食塗料と並んだコアビジネス、窯業建材用塗料では国内トップシェア
- 機能性塗料、高耐久性塗料などラインアップも多岐に亘る
- ジェットインクとの組み合わせによる高意匠化技術の展開を図る



建材塗料における取組み

建材塗料の差別化要件

高耐久性

機能性

高意匠性

1987年9月

K（建材）PJ発足

1993年5月

千葉化工(株)稼働開始
 - 建材向け水性塗料の需要増加対応
 - 需要地近くの生産拠点

- 建材のライフサイクルにおいて、新築からリフォームまでカバーするビジネスモデルを確立
- プレハブ化時代にプロジェクトを立ち上げ、住宅建設が最も伸長している時代にNo.1シェアを実現
- 鋼板から始まり、窯業系建材として外壁材用の建材塗料も開発

SBライズコートシステム



- 新築時の建材に塗装された塗料がリフォーム段階に入った時に、高意匠性のある現行意匠（レンガ調など）を生かし、劣化した塗膜の上に「クリアー塗料」を塗布

最近の開発技術

高耐久性

- 長期塗膜保証（15年、20年）を可能とする有機無機複合樹脂
- ふっ素樹脂クリアーの展開

機能性

- セルフクリーニング機能による防汚機能を実現するため、オーバーコート剤、一液親水クリアーを開発

高意匠性

- ジェットインクによる高意匠仕様を確立

6.事業内容

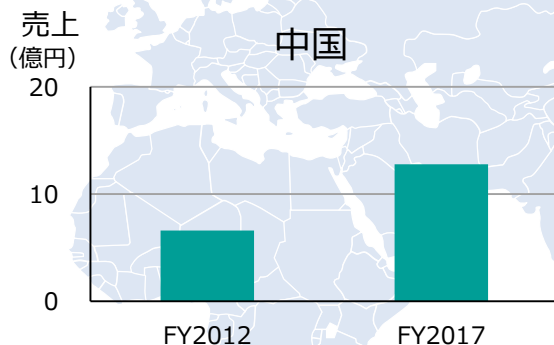
②海外塗料事業

- 2012年以降、海外での日系企業需要に対応し、海外事業拡大P Jを展開
- 工業用塗料で土台を構築し、得意分野である重防食塗料の海外市場向け製品化を推進

中国 2002年設立

主要生産品 重防食用、工業用、自動車部品用、プラスチック用、建築用

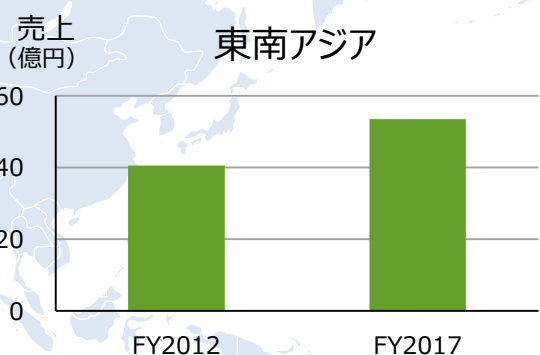
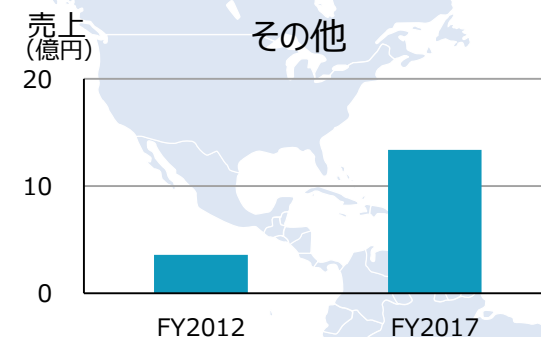
- 品種バランス充実、幅広い分野へ対応
- 自動車部品用塗料中心に工業用事業展開
- 重防食塗料は、日系プロジェクトを中心に展開



メキシコ 2003年設立

主要生産品 自動車部品用、プラスチック用

- 2013年関西ペイント(株)との合併販売会社を設立
- 日系自動車メーカーの進出に伴い、自動車部品・プラスチック用塗料を中心に事業拡大
- 今後、北米や南米への拡販も視野に営業活動を推進



タイ 1970年設立

主要生産品 自動車部品用、プラスチック用、工業用、重防食用、建築用

- 当社海外現法の最大拠点
- 自動車部品を中心に幅広い分野に事業展開
- 現状工業用中心も、今後、重防食塗料にも注力

シンガポール 1972年設立

主要販売品 建築用、重防食用、工業用

- 東南アジア・インド地域統括及び販売・マーケティング機能
- 地場発信型ビジネスモデル構築
- 地域内製品統合
- 未染手市場開拓
- 2014年販社へ特化、マレーシアジョホール州へ生産機能を集約

マレーシア 1983年設立

主要生産品 建築用、重防食用、工業用、プラスチック用

- 2014年ジョホール州に新工場設立し、旧シンガポール生産拠点を統合
- 建築用、工業用塗料の生産比率が高い
- 今後、マレーシア他、重防食塗料にも注力

インドネシア 2001年設立

主要生産品 自動車部品用、プラスチック用、工業用

- 2014年新工場設立、2工場体制
- インドネシアの日系自動車・部品メーカーの進出加速により、塗料需要が拡大
- 重防食分野を含め現地生産品目を拡大し、事業拡大

6.事業内容

③照明機器事業 (DNライティング(株)・ニッポ電気(株))

- 高い技術力と商品の完成度が評価され、業務用照明機器の分野で独自の強みを発揮。特注品対応、施工などの細やかな顧客対応により、デパート等の店舗照明や高級ブランド店の照明では高いシェアを獲得
- 急速に伸長するLED関連市場において、高付加価値品と廉価汎用商品の開発によるバランスのとれた生産体制を構築し、競争力強化を図る

建築化照明



高知県立高知城歴史博物館

施主：高知県 設計：日本設計・若竹まゆみ研究共同企業体
照明計画：アカリ・アンド・デザイン 撮影：稲住写真工房

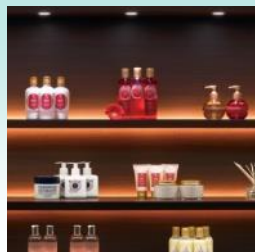


埼玉石心会病院

施主：社会医療法人財団 石心会
設計：株式会社山下設計 撮影：荒木文雄

- 間接光、透過光、直接光などの光の演出により、建築物の特長を損なうことなく空間を演出

店舗照明



ザ・ガーデン自由が丘

施主：株式会社シルガーデン
撮影：荒木文雄

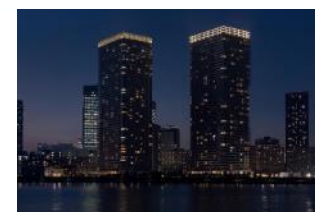
- 様々な色温度、配光、サイズ、形状の照明器具を求める設計者やデザイナーの要望に応え、商品をより美しく演出

LED関連の競争力強化への取組み

- LED関連商品の競争力強化
 - － 高付加価値品と廉価汎用商品の二極化傾向にしっかり対応できるバランスのとれた生産体制の構築
- 新市場の開拓
 - － 屋外・半屋外用LED照明器具の販売強化



2017DNライティング新商品発表会



ザ・パークハウス晴海タワーズ

(施主：三菱地所レジデンス株式会社、鹿島建設株式会社)
設計：株式会社三菱地所設計 撮影：金子俊男
照明計画：有限会社内原智史デザイン事務所

- － 産業機器分野・農業分野等へのPR営業強化



きのご育成用LEDモジュール

6.事業内容

④ 蛍光色材事業 (シンロイヒ(株))



- 蛍光色材会社として、蛍光塗料・顔料における圧倒的な国内シェア
- 素材の製造・販売から、特殊な蛍光塗料を使って建物の内外装デザインまで手掛ける

安全防災マーキング



- 駅ホーム落下防止安全対策のCPラインや河川水害対策の量水標で使用されている蛍光塗料

ヘリポートサイン



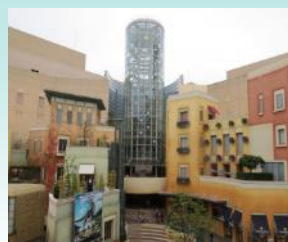
- 高層ビルの災害時に効果を発揮する緊急離発着場専用の蛍光塗料

捺染、インキ用水性蛍光顔料



- 衣服など繊維の染色や印刷用途で使用されている蛍光顔料

テーマパークコーティング



- 耐候性、耐水性に強い水性アクリル樹脂を使用したデコラティブペイント



VフロンHBシリーズ/DNT水性重防食システム

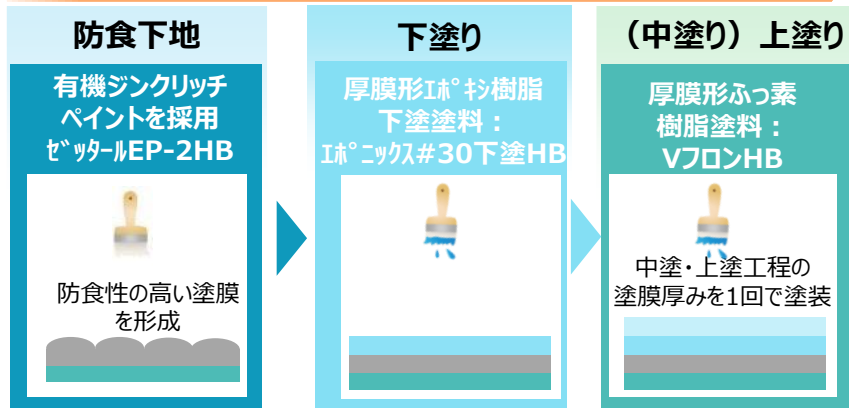
- 超耐久性塗装システム「VフロンHBシリーズ」は、塗装系の高耐久化と塗装工程の短縮を実現
- オール水性化を国内で初めて実現した「DNT水性重防食システム」を提供。東京五輪に向けて普及を促進

超耐久性塗装システム：VフロンHBシリーズ

東京スカイツリー®にも採用の重防食システム

NETIS登録番号
CG-150007-A
(国土交通省 新技術情報提供システム)

塗装工程



優れた耐候性

従来5工程の塗装仕様を3工程に

塗装工程の短縮

VOC排出量を約25%削減

環境負荷の低減

塗り替えサイクル10年→25年

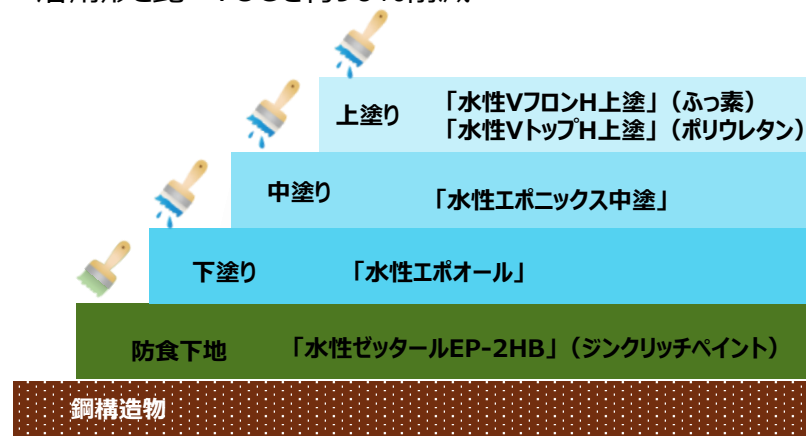
塗り替え周期の延長

DNT水性重防食システム

環境配慮による溶剤形から水性化への流れ

NETIS登録番号
KK-130038-A
(国土交通省 新技術情報提供システム)

- ジンクリッチペイントから下塗り、上塗りまでのオール水性化を国内で初めて実現
- 溶剤形と比べVOCを約90%削減



水性塗料普及への取組み

- 溶剤形重防食システムと同等の防食性、耐候性を有することをPR
- プラント、タンク、配管、橋梁、立体駐車場などに採用実績

2015年度（NETIS）“推奨技術”に選定 「サビシャット」



- 塗布形素地調整軽減剤「サビシャット」は、国土交通省のデータベース（NETIS）に登録されている申請情報（技術）のうち、画期的な新技術として2015年度の「推奨技術」に選定された

特長

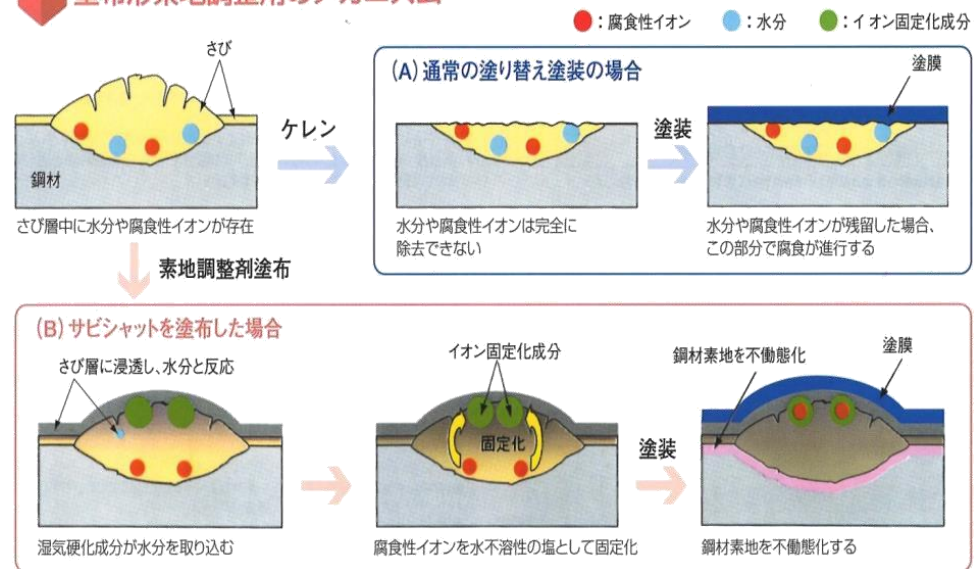
- ① 粉塵や騒音の発生を低減
- ② 4種ケレン程度の素地調整で高レベルな下地づくりが可能
- ③ さび層に浸透し、脆弱層を強化
- ④ さび層中の水分を除去
- ⑤ さび層中の腐食性イオンを無害化

- 簡単な表面処理（さび等の除去）後の塗布のみでのさび止め効果の実現
- 従来の電動工具処理等でかかっていた時間・コストを削減できるうえ、処理で生じる粉塵や騒音を抑制、火花の発生を防止
- 化学プラントのタンク等において安全な塗装作業をサポートすることが可能



サビシャット

塗布形素地調整剤のメカニズム



環境対応形商品 耐候性に優れた粉体塗料「パウダーフロン」



- 多くの高層ビルやホテルの外壁に採用されている「金属製カーテンウォール」には、従来の溶剤形塗料から環境対応形の粉体塗料の採用が伸展
- 「パウダーフロンCW」は大型高層物件に順次採用、「パウダーフロンSELA」では更なる耐久性を実現

カーテンウォールとは

- 金属製カーテンウォールとは
 - 建築構造上取り外し可能な壁
 - 建物の自重及び建物の荷重はすべて柱、梁、床、屋根等で支え、建物の荷重を直接負担しない壁
 - 多くの高層ビルやホテル外壁に採用



カーテンウォール用塗料

- 耐候性での優位性から国内は溶剤形ふっ素樹脂焼付塗装が一般的
 - 環境規制の厳格化を背景に粉体塗装への流れが強まる

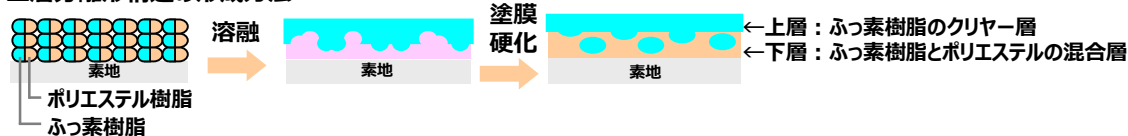
超耐候性ふっ素樹脂タイプ[®] パウダーフロンCW

- ふっ素樹脂が主要樹脂の粉体塗料
 - 溶剤形ふっ素樹脂塗料並の優れた耐候性
 - 良好な塗膜外観、密着性
 - 優れた耐薬品性
- ⇒現在主流の溶剤形ふっ素樹脂塗料からの置き換えが伸展中

二層分離形ふっ素樹脂タイプ[®] パウダーフロンSELA

- ふっ素樹脂とポリエステルとの混合粉体塗料として、ふっ素樹脂塗料を超える耐久性を実現
⇒二層分離形ふっ素樹脂粉体塗料【SELA = SEPARATION (分離) LAYER (層)】
- 塗膜形成時に、二層分離

二層分離形構造の形成方法



- ① 耐候性 : ふっ素樹脂塗膜 (粉体・溶剤) 以上の性能
- ② 密着性、加工性 : ポリエステル粉体塗膜と同等以上
- ③ 回収再利用可能: 回収再利用時、ふっ素/ポリエステルの比率変化なし

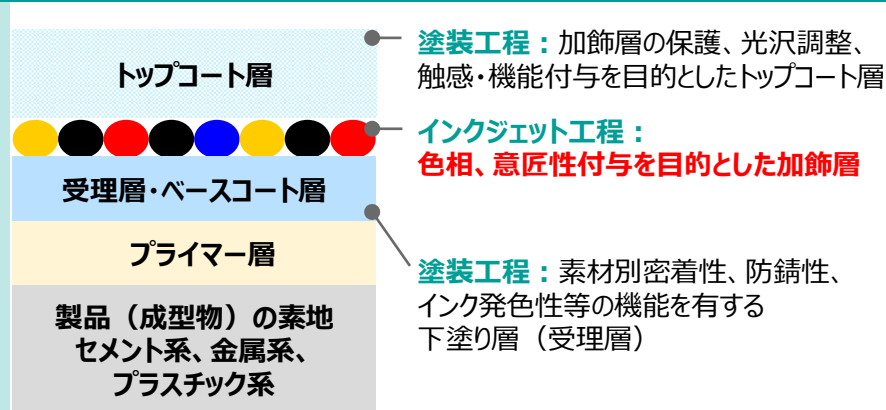
★DNT独自の技術として国内特許取得済 (5件)
特許第5372621、5419828、5419941、5612280、5921001

ジェットインク事業の取組み

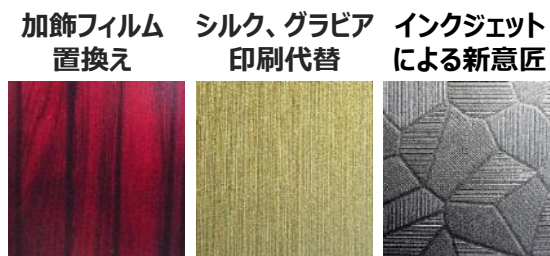


- 塗料とインクの両方の知見を生かした「塗料とインクの相互の調整」による、最高品質のインクジェット加飾を実現
- 少量多品種生産や在庫削減等の生産メリットを訴求し、市場の拡大を図る

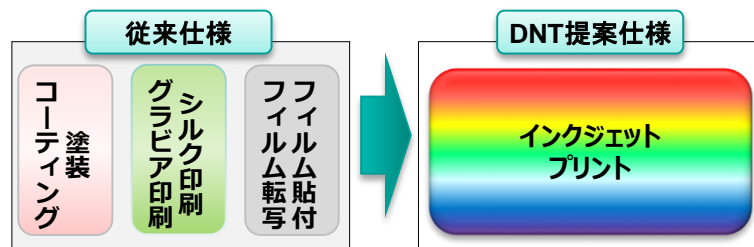
ダイレクトデジタルコーティングの塗膜構成



高品質な意匠性



インクジェットの導入メリット



- ① 1枚でも1000枚でもコスト均一。超小ロット対応が可能
- ② 量産ラインでも試作可能。PCでデザイン作成するので印刷時に版不要
- ③ 印刷面への触感の付与も可能

インクジェット導入例・検討状況

- ① 建材メーカー 窯業系外装材でトップコート塗料との組合せ品質を重視
- ② 内装メーカー ケイカル板、石膏ボード内装材で、ベース・インク・トップコートのトータル開発で組合せ品質を確保
- ③ 住宅メーカー 住宅設備フローア材、浴室材
- ④ 家電メーカー 少量多品種対応で、小規模案件への積極展開
- ⑤ パッケージメーカー 少量多品種対応で、機動的な変動生産ラインへの移行



Vフロン#200スマイルRBメタリックシステム

- 高度成長期建設の老朽化が進む中高層建築に対応した金属製カーテンウォール改修向けローラー塗装可能なメタリック塗料

高度成長期のカーテンウォール塗り替え需要の課題に対応

■ 開発経緯

- 高度成長期に竣工された中高層建築の外壁に利用していた発色アルマイト（陽極酸化（複合）被膜）の劣化が進行するも、メタリック塗装の改修需要が顕在化せず

メタリック塗装改修仕上げのデザインが原因

ローラー塗装：塗り継ぎムラ目立つ

スプレー塗装：高度な塗装技術とダストによる環境被害

阻害要因を解決する塗料・仕様の確立

画期的メタリック塗料の開発へ

Vフロン#200スマイルRBメタリックシステム

- ローラー塗装で均一に仕上がるメタリック塗料
 - 金属調としてメタリック塗料を選択し、施工現場での養生や作業性を考慮し、ローラー塗装ができるもの
- ライフサイクルコストを考慮した高耐久ふっ素樹脂形塗料
- 環境に配慮した弱溶剤形塗料

塗装実例～神戸国際交流会館



1981年2月竣工時



2016年10月塗り替え前



2017年4月塗り替え後



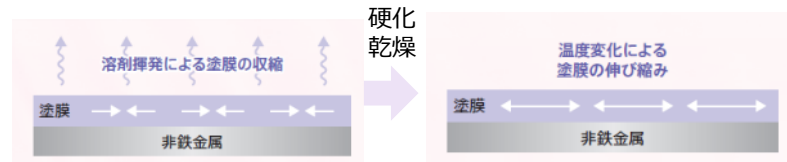
2液防食下塗塗料「エポティ」

- 建造物のあらゆる金属素材に強固に付着し、塗り分け要らずの弱溶剤系の2液防食下塗塗料
- 健康と環境に配慮した特化則対応と人材不足を踏まえ工程短縮を志向したオンリーワン商品

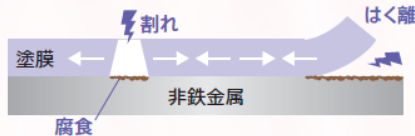
金属素材下地における課題

- 建築・構造技術の飛躍的進歩により、鉄鋼のみならずステンレスやアルミ・亜鉛めっき鋼など様々な非鉄金属が建造物に用いられる

- 素材毎に特性が異なり、特性に応じて下塗塗料を選定する必要（1物件においても、異なる金属が使用され取扱う塗料種類数増加/工程の増加など管理が煩雑）
- 非鉄金属は活性が高く表面に緻密な酸化被膜を形成するなどの特長をもち塗膜が付着し難い



- 塗膜の伸縮により非鉄金属面と塗膜間の付着力低下、塗膜の割れ・はく離発生
- 塗膜破壊箇所を起点に塗膜下で腐食が進行



- 強溶剤系塗料が主流であるがゆえの環境問題

2液防食下塗塗料「エポティ」

- 幅広い金属・非鉄金属素材に対応し、且つ環境性能に優れた下塗塗料の対応

- 塗膜が柔らかく伸縮性に優れ非鉄金属と強固に付着
- 塗膜の伸縮継続後も付着力が低下せず塗膜の割れ・剥離を生じない

エポティ



長期にわたり耐久性を維持

特長

幅広い下地適正
(マルチ)

各種非鉄金属面に対して
優れた付着性を発揮

優れた環境性能

弱溶剤系塗料/臭気がマイルド

優れた防食性

新設でも塗り替えでも
長期耐久性が期待



エポティ

8.高機能塗料展出展 2018.5.9～5.11 インテックス大阪



- 塗料業界の大型展示会としては12年ぶりとなる第1回「高機能塗料展」が大阪にて開催
- 高耐久性塗装システムを中心に主力新商品を出展、製品・技術セミナーを開催

高機能塗料展概要

高機能塗料展 [関西展]

会期：2018年5月9日(水)～11日(金)

会場：インテックス大阪

主催：リード エグジビション ジャパン (株)

共催：(一社)日本塗料工業会

当社出展概要：

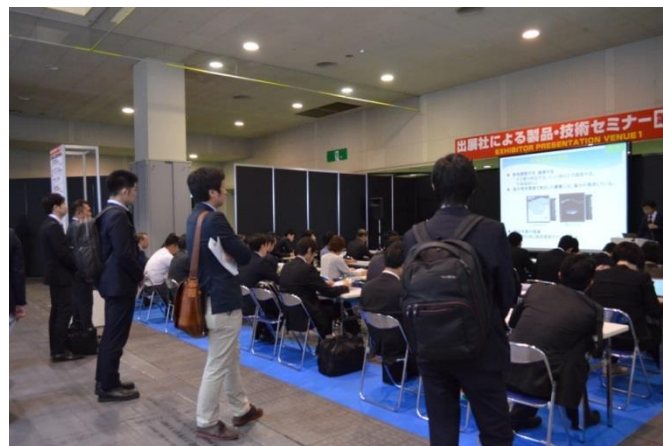
- ・ 「DNT デジタルコーティングシステム」
- ・ 「Vフロン#200スマイルRBメタリックシステム」
- ・ 「サビシャット」
- ・ 「パウダーフロンSELA」等



大日本塗料ブース

製品・技術セミナーを開催

- 「一般塗装系と重防食塗装系の分類及び 新技術による塗替仕様提案」をテーマに製品・技術セミナーを実施



大日本塗料セミナー風景

高機能塗料展[東京展]実施予定

会期：2018年12月5日(水)～7日(金)

会場：幕張メッセ

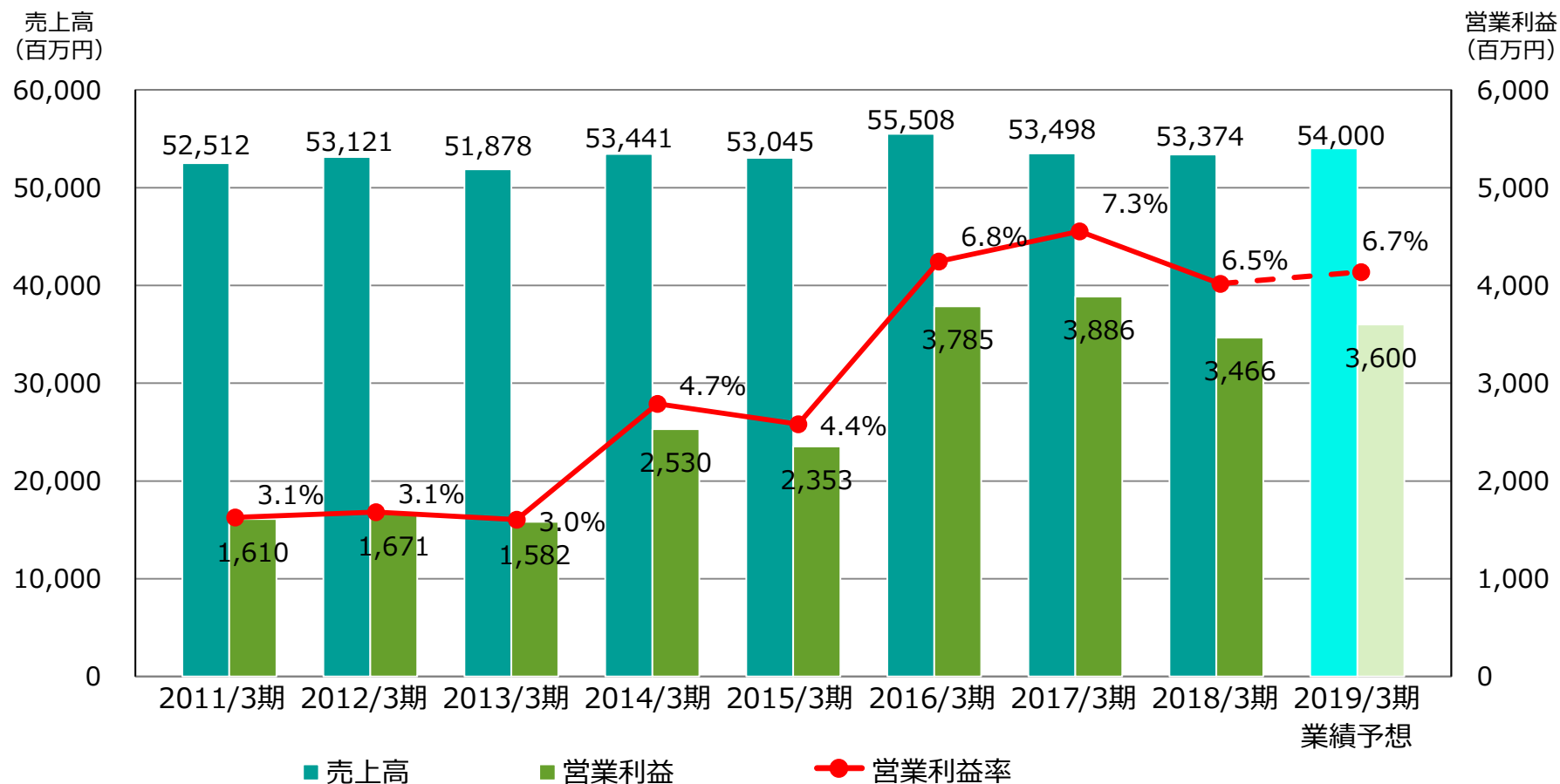
主催：リード エグジビション ジャパン (株)

共催：(一社)日本塗料工業会

9.国内塗料事業 売上高・営業利益推移



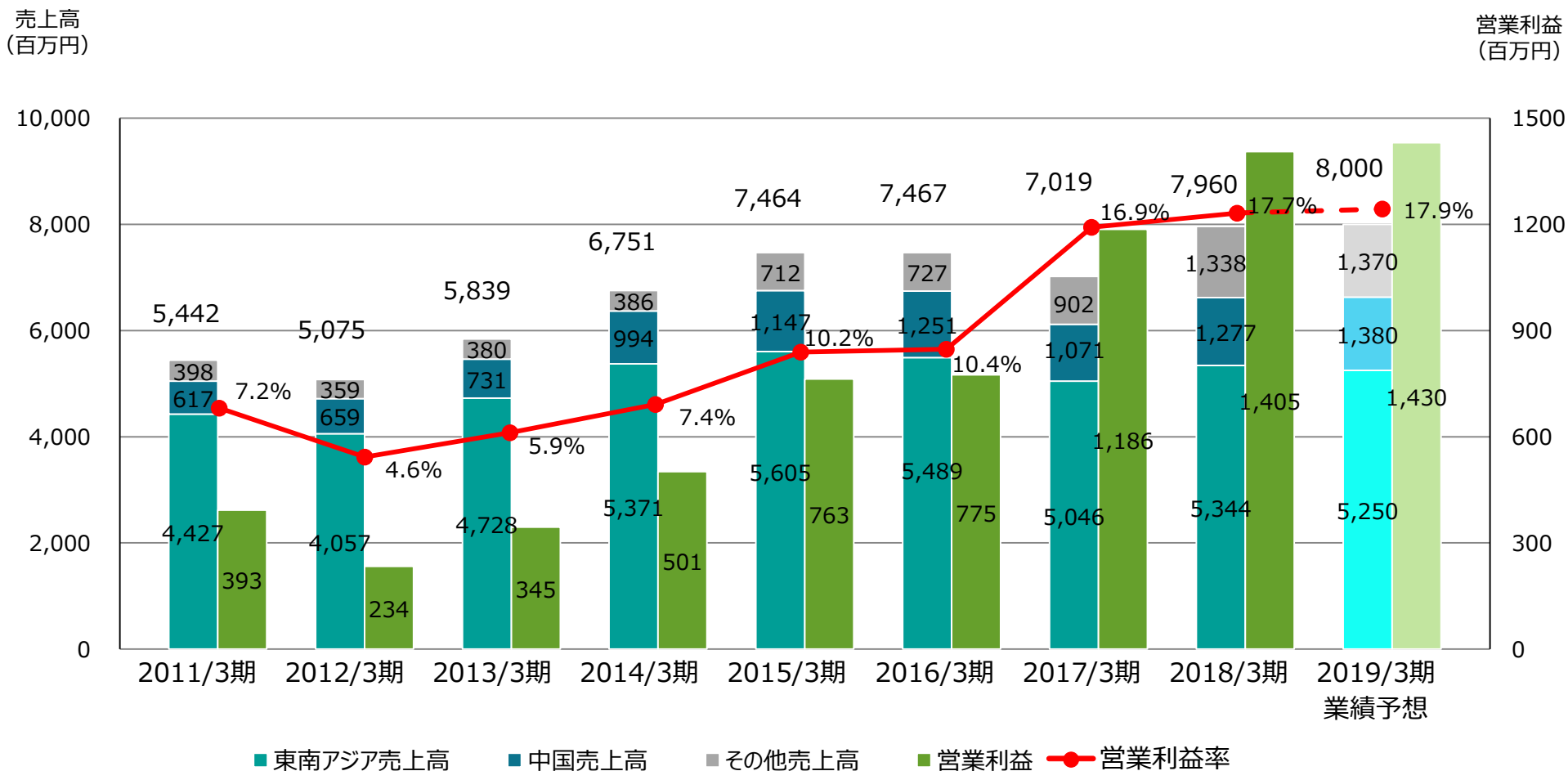
- 市場縮小のなか、インフラ更新需要を着実に取り込み、グループ構造改革や体質改善を進め収益基盤を強化



10.海外塗料事業 地域別売上高・営業利益推移



- 拡大市場と位置付け、海外事業拡大PJの推進、メキシコ合併販売会社により堅調な業績



本日はありがとうございました



彩り企業、DNT。

IRに関するお問い合わせ先

大日本塗料株式会社 管理本部 総務部

.....
電話：06-6466-6661
e-mail：dnt-sou@star.dnt.co.jp

将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。